

泰仙寺便り

9月22日午後、 台風接近中、 それでも 秋のお彼岸法要 南無阿弥陀仏。



台風接近にも負けず、秋のお彼岸法要を勤める事ができました。

秋のお彼岸のお説教は、私の人生を貫くものは何か、ということをお話しさせていただき、中島みゆきさんの「糸」という歌を通して仏さまの教えを結んでいきました。中島みゆきさんは天理教の信者で、1992年、天理教の跡継ぎさんの結婚のお祝い歌として作られたのが「糸」という歌です。確かに1番を聞くと（結婚のお祝いの歌だなあ）と思う。しかし、中島みゆきさんは詩人ですから、それだけでは物足りなくなりました。2番の歌詞をみてみましょう。

♪なぜ 生きていくのかを 迷った日のあとの ささくれ
♪夢追いかけて走って 転んだ日のあとの ささくれ
♪こんな糸がなんになるの 心許なくて ふるえてた風のなか
♪縦の糸はあなた 横の糸は私
♪織りなす布は いつか誰かの傷をかばうかもしれない

ちょっと変わってきたでしょ。これ、結婚のお祝い歌に聞こえますか？だって挫折が出てくる。どれだけがんばっても、どう生きていけばいいのか分からない苦しみがやってきた。夢追いかけて走って転んで傷ついた。「ささくれ」というのは傷あとです。人生生きているとあっちこちに傷ができる。誰もが人には言えない傷があっちこちにある。その傷を思う時に「こんな糸が♪」こんな糸というのは私です。風の中でブルブルブルブル震えているだけなんです。そこに縦糸がとおるとね、布となっていく。そして、その布は、誰かの痛みをかばっていくかもしれん、涙をふきとってくれるかもしれない。

こんな私の横糸に、この私の人生を貫く縦糸がとおれば、曲がっても、ゆがんでも、一枚の布が織りあがっていく。それは私の人生模様が織りあがっていくようだと、この歌を聞かせてもらっております。あなたの人生を貫く縦糸は何ですか？そしてサビになります。

♪縦の糸はあなた、横の糸は私
♪逢うべき糸に出会えることを 人は合わせとよびます

この時の「しあわせ」という漢字は幸福の「幸」ではない。中島みゆきさんは、仕事の「仕」「仕」えるという字に「合」うという漢字を書かれた。まさしく拝む大悲の阿弥陀如来さまが合わせていただく私の人生。あなたは何を当てにして生きてますか？それは人生を貫いてますか？切れないものですか？

手芸部 お寺で秋の合宿ご案内



- 日時 令和元年**10月23日**（水）午前11時～**24日**（木）お寺に一泊
 - 参加費 5000円程度 バッグやポーチを作りましょう♡夕食は焼き肉♡
- 参加ご希望の方は**10月20日**（日）までに**092-927-1691**お電話ください！
※11月は第三水曜日ではなく11月29日（水）です！12月18日（水）

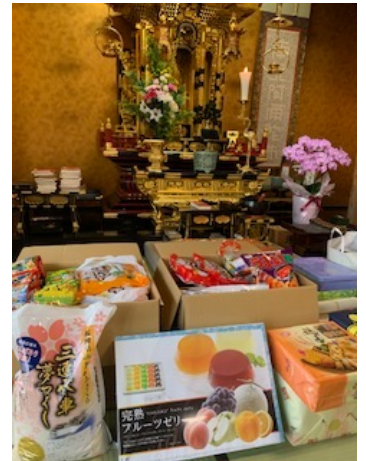
おてらおやつクラブより

お盆にいただいた沢山のお供え物のお菓子は、久留米市内の5つの「こども食堂」や「障がい児デイサービス」の支援団体におすそわけされました。子供たちがとても喜んでくれたそうです。お菓子だけではなくタオルもとても喜ばれました。ありがとうございました。

お彼岸のお供え物のお菓子は、福岡市内のシングルマザーをサポートしている支援団体におすそわけになりました。ありがとうございました。

これからも、子供たちの笑顔に会いたくて、おやつのおすそ分けを続けていきたいと願っております。どうぞ皆様、あたたかいお心、お願いいたします。

ありがとうございました！



今月のことば

眠れない夜を 嘆く者は多いが
目覚めた朝に 感謝する者は少ない

なんだか、笑ってしまいました。
皆様はどうですか？